

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2018/9/25
所属学部・ 研究科・学府	融合理工学府
所属学科・専攻	創成工学専攻デザインコース

1. 留学先について

留学先大学名	英国/Glasgow School of Arts・フィンランド/Aalto University							
留学先所属学部等	英国/School of Product Design・ フィンランド/Department of Design/ Collaborate Industrial Design							
留学期間	出発日	2017/9/6	入学日	2017/9/13	修了日	2018/8/24	帰国日	2018/9/1
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input checked="" type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他()			
	通学時間	30分				On campus		
	通学方法	バス						
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/>	個室	()	人部屋	その他(女性3人でベッドルーム別のシェアフラット)		
	共有スペース	<input type="checkbox"/>	完全個室	* キッチン	* トイレ	* バス	* リビング	その他()
食事	自炊	50%	学食	50%	外食	その他()		
保険	海外旅行保険(名称)	ジェイアイ火災傷害保険たびほ						
	派遣先大学指定の保険(名称)						強制加入	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄		ドバイ国際空港(飛行機)			⇄ グラスゴー国際空港(飛行機)		

2. 留学にかかった費用について

総費用	2,700,000 円								
出どころ									
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	両親	450,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	家族・親戚	50,000 円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/>	JASSO	円	<input checked="" type="checkbox"/>	その他名称(トビタテ留学JAPAN 奨学金)	2,000,000 円			
その他	<input type="checkbox"/>	千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/>	その他()	円			

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/>	現金	200,000 円	<input type="checkbox"/>	その他()	円
留学中	<input checked="" type="checkbox"/>	海外送金	<input type="checkbox"/>	キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/>	その他(主にクレジットカード決済を利用)

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし	
住居にかかった費用	フィンランド/現地の銀行口座を作り、月初めに振り込み(住居予約のために口座からの送金必須)	
その他		

2-3. 内訳

費目	外貨金額	円貨金額
----	------	------

	通貨単位			
渡航費(往復)			300,000	円
海外旅行保険			120,000	円
OSSMA			32,000	円
査証・在留許可証	€	200	28,000	円
住居	£/€	1800 / 2940	689,000	円
食費	€	2,400	345,600	円
通学に要する交通費			80,000	円
教科書、教材費				円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 (旅行費)	€	4,500	648,000	円
その他 (通信費)	€	400	57,600	円
その他 (舌消耗品(服な)	€	1,300	187,200	円
その他 (交際費)	€	1,500	216,000	円

3. 学業面

履修科目名	種類ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無		
			●	有	無
1 Product Design-BDES-Culture, Context, Client	正規	30	●	有	無
2 Form Exploration	正規	10		有	● 無
3 Silk Screen	正規	2		有	● 無
4 Experimental Design	正規	10	●	有	無
5 New material and meaning of production	正規	10	●	有	無
6 Chemarts Summer Course	正規	20	●	有	無
7				有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

英国/すでにカリキュラムが組まれていて選択する科目はない。また履修登録の必要もない。
フィンランド/ WebOodiと呼ばれるシラバスサイトから履修登録を行う。授業開始15日前から登録が可能になり、基本的にそのコースの学生が優先される。

3-2. 授業内容、方法に関して

プロジェクト演習型授業。はじめにコースの目的と概要を説明され、座学や実験などを組み合わせて期日までに作品を作ってプレゼンテーションで評価される

3-3. 語学力について

日常会話には大きく苦労はしなかったが、プレゼンテーションは語学力も合わせて厳しく評価される。

3-4. 図書館など学内施設について

アアルト大学アラビアキャンパスの図書館は隣接する Metropolitan大学のものであり、比較的小さい。本学も改装中のためか小さい印象。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

両国ともに学生寮に入居した。
英国では男女7人でフラットをシェアしていた。それぞれの寝室にバスタイレがついていて、キッチンのみシェアする。
フィンランドでは女性三人でキッチンバスタイレをシェアした。

4-2. 食生活について

特になし

4-3. インターネット環境、携帯電話について

英国では学生寮各部屋に無料Wifiが完備されていた。
フィンランドでは個人での加入が必要であったため月額3000円で無制限インターネットを契約していた。

4-4. 服装について

防寒対策のため登山用のコートを購入した

4-5. 健康管理について

英国、特にスコットランドでは移民も無料で医療が受けられる。しかし患者登録のため1日待つ必要があり、やや予約が取りづらい。緊急時は緊急医療センターか私立病院に行く必要があるが医療費はかなり高額であり、保険によってはキャッシュレス対応が難しい。
フィンランドに入国したばかりの1月から2月にかけて日光不足のために体調を崩した。薬剤師と相談した結果ビタミンD投薬し、回復した。現地の病院は電話予約が必須なのだが英語で対応してくれる。しかし、フィンランド語の地名など聞き取れず友人に助けてもらった。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

英国/9月持病の常備薬処方のためOSSMAに病院を紹介してもらった。10月腹痛のためOSSMAに病院を手配してもらった。
フィンランド/1月日光不足のため病院を紹介してもらったが、自分で電話する必要があった。3月旅先で腹痛のため病院を紹介してもらおうとしたが緊急時は現地の救急車を呼ぶように言われる。

4-7. 課外活動について

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

4-9. 日本から持参してよかったもの

レトルトの日本食、衣類圧縮袋、クイックルワイパーシート、化粧品

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

いつも使っているシャンプー・リンス

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

会話の中であまり他人の話をしないこと。人の容姿についていい点も悪い点についても意識して触れないこと。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

10月ポルトガル(リスボン・ポルト5日間)400€
 / 11月スペイン(バルセロナ2日間)300€
 / 12月ロンドン(市内のみ3日間)250€
 / 12月ドイツ(ミュンヘン・フッセン5日間)500€
 / 12月フィンランド(ヘルシンキ・ロバニエミ9日間)650€
 / 2月ノルウェー(トロムソ3日間)400€
 / 4月イタリア(ミラノ3日間)350€
 / 6月イタリア(ナポリ・カプリ島5日間)400€
 / 6月デンマーク(コペンハーゲン2日間)100€
 / 7月トルコ(イスタンブール・カッパドキア6日間)600€
 / 8月スウェーデン(ストックホルム3日間)300€
 / 8月パリ(フランス3日間)250€

その他 *気分転換やストレス発散法など。

料理

5. その他

5-1. 留学先大学について

アアルト大学で参加したコースは一度修士を卒業した学生、仕事を経験した学生が多く、平均年齢が約27-28歳くらいです。それゆえに授業で求められるレベル、学生のアウトプットのレベルが非常に高く、とても刺激的な毎日をおくることができました。また、実際にもものを作るという意識が強く、そのためのスタッフと設備、時間が十分に用意されていることが魅力でした。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

フィンランドは学内・学内とも学生をサポートする体制がしっかり整っており、学ぶ環境として充実しています。また日本では見られない自然現象や気候に出会えます。体調管理にはしっかり気をつけて学業と日々の生活を楽しんでください。

5-3. 留学を終えて

学部生の頃から憧れていたフィンランドの大学で8ヶ月という長い時間を本当に楽しく過ごすことができました。美しいと思うものを見る、作る、議論する、記録することに一生懸命になれた時間はこの先の活動の指標になって行くと思います。また、行く前は留学は自らの力で生活を切り開くぞ！と意気込んでおりましたが、振り返るとたくさんの人の協力によって支えられていたことに気づきました。与えてもらった支援を誰かに還元できるよう自らの学びや時間を使っていきたいと思っています。